

本号の特集は消化管病変に焦点を絞った“現状と展望”である。本特集を企画するに当たり、果たして本誌に相応しい画像として十分に表現できている状態なのだろうか、との不安もあった。しかし各論文を見る限り、1997年の第83回日消病総会以来、この1年間に大きな発展をみた。従来、X線、内視鏡、病理の画像を中心に特集が組まれてきた本誌であるが、ここでまた21世紀に向けて、新しいmodalityの礎ができてきたと痛感する。3D-EUSでは通常のprobeが使える、病巣の全体像が把握、volumeの計測、表面性状の描出などが利点と強調された。しかし、今後の大きな課題は指摘されているように心拍、呼吸の影響を受けない機器の改良・工夫である。ヘリカルCTに関しては画像の微細描出能はもう一步の感もあるが、大きな利点は低侵襲性、高齢者などに

は有用性がある点である。しかし撮像時間は短くとも、その後の画像構築に多大な労力を要するものが、これからの解決点である。MR内視鏡では、提示された症例では画像の表現力はもう一步の感もある。いずれにせよ、従来の二次元画像と違うのは、このmodalityで描出される画像は、どのような角度からの切り出しでも病変の表示ができる点である。このほか、画像処理、立体計測の展開も報告された。コンピューターを駆使した現状の三次元画像診断は明らかに21世紀へ向かって、その手法も改良され、普及することと期待される。しかし常に考慮すべきことは、低侵襲であり、患者に恩恵を与える検査法へと発展させることである。そう願いつつ、最新の画像が読者に大きなimpactと夢を与えることを期待する。

胃と腸

3月号（第33巻・第4号）予告

発売予定

3月25日

定価（本体2,100円＋税）

主題／胃癌の診断にX線検査は不要か

序説	胃癌の診断にX線検査は不要か	福大筑紫病院・消化器科	八尾恒良
主題	胃癌の診断にX線検査は不要か		
	—必須とする立場から：拾い上げ診断	金沢医師会	吉田千尋・他
	—必須とする立場から：早期胃癌の拾い上げ診断（外来診療から）	松山日赤・消化器科	菊池陽介・他
	—必須とする立場から：表層拡大型胃癌を中心に	済生会熊本病院・消化器科	多田修治・他
	—必須とする立場から：質的診断	名大・2内	丹羽康正・他
	—必須としない立場から：拾い上げ診断	北里大・内科	大井田正人・他
	—必須としない立場から：拾い上げ診断	東京都がん検診センター	西沢護
	—必須としない立場から：微小胃癌の内視鏡診断能	昭和大藤が丘病院・消内	高橋寛・他
	—必須としない立場から：質的診断	東京女子医大・消化器科	鈴木茂・他
	—治療の立場から	広島市民病院・外科	二宮基樹・他
	—治療の立場から	癌研・内科	石原省・他
	—私はこう考える	多賀須幸男・藤野雅之・川口実・浜田西元寺克禮・長南明道・杉野吉則・細川	勉・馬場保昌 治・細井董三 渕上忠彦

リフレッシュ講座 〈大腸検査法⑤〉注腸X線検査と読影上のpit fall 松山日赤・消化器科

胃と腸（第33巻 第2号）

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802

E-mail: itocyo@nna.so-net.or.jp

1998年2月25日発行（毎月25日発行）

1部定価（本体2,100円＋税）（配送料124円）

1998年年きめ予約購読料29,600円

（増刊号4,400円を含む13冊）（送料弊社負担）

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷（株） ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1998, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。
- **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター（03-3401-2382）の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ（インターネット） <http://www.igaku-shoin.co.jp>

（担当）小林・土田・小松原・長谷川